

調査の目的等

1. 調査目的

○子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

2. 調査実施期間及び調査の対象

令和3年(2021年)5月26日(水)～6月2日(水) 小学校第5・6学年の児童

3. 調査内容

(1) 教科に関する調査

5年生・・・国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

6年生・・・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

令和3年度すくすくウォッチの結果



【令和3年度 すくすくウォッチ5年生結果】

【令和3年度 すくすくウォッチ6年生結果】

全体的な傾向について

各教科の正答率を大阪府と比較すると、わくわく問題については5年生で大阪府を上回りました。その他の教科については、大阪府を若干下回る結果となりました。

5年生では、国語科において言語感覚や文法等の基礎的な知識や技能の習得について課題があることが分かりました。算数では、「図形」の面積や辺の長さ等、公式を応用して考えをつくる問題で課題があることが分かりました。

5・6年生共通で行った「わくわく問題」では、本校の全国学力学習状況調査分析で課題としてあがっていた「論理的思考力」「読解力」について、設問別正答率で大阪府の平均を上回りました。一方、「プログラミング的思考力」の定着を問う問題では、課題があることが分かりました。

児童アンケートの結果

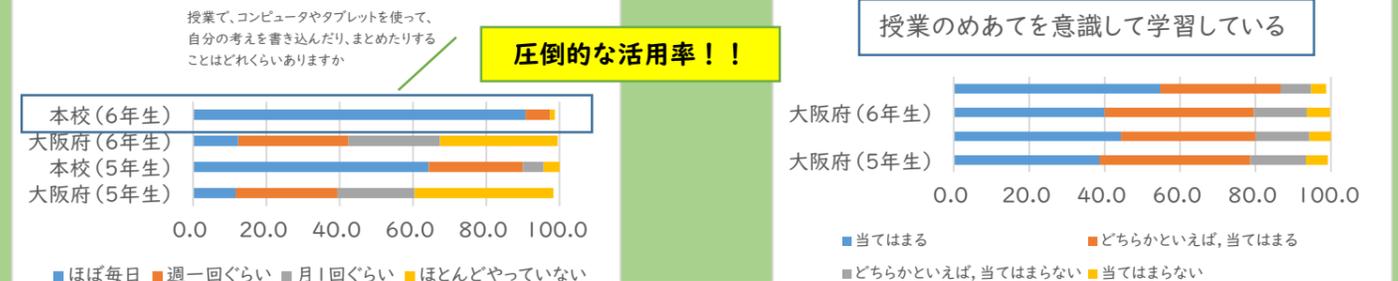
目標に向かって頑張る力・好奇心



大阪府を大きく上回る

学校・授業での様子

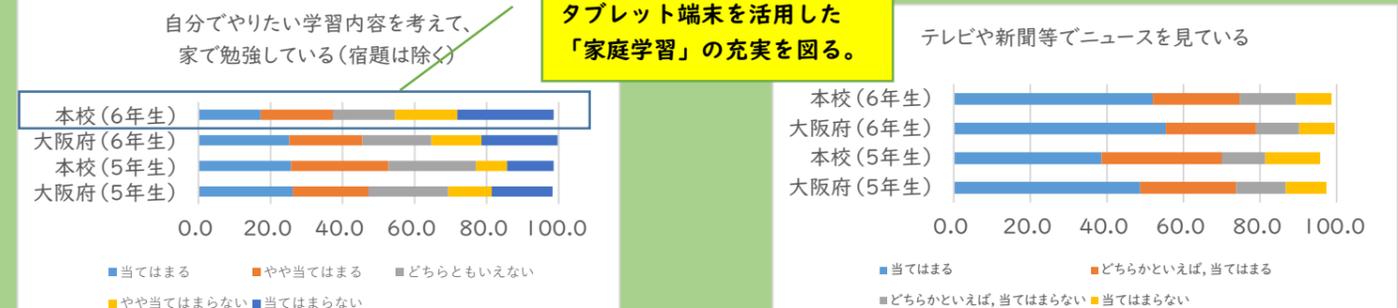
授業毎に目標を持つ習慣が定着



圧倒的な活用率！！

授業・家庭での様子

タブレット端末を活用した「家庭学習」の充実を図る。



今年度の結果及び今後の取り組みについて

長尾小学校では、本年度より「ICTを活用した授業方法の研究」をテーマに研究を進めています。昨年度より配備されたiPadを活用し、1年生から6年生まで系統立てた取り組みを進めているところです。今回の調査結果を踏まえ、学力を支える基本的な知識や技能の確実な定着を図ってまいります。また、その土台の上に、タブレット端末を効果的に活用した授業実践を積み重ねることで、子ども達の資質・能力を高める教育活動を以下の「取組みの重点」に沿って実施してまいります。

【取組みの重点】

・プログラミング的思考を伸ばす学習活動の実施 ・基礎基本の確実な定着 ・タブレット端末を活用した家庭学習の充実